

令和5年度（2023年度）第3回東海市幼児教育研究協議会会議録

- 1 会議名 令和5年度（2023年度）第3回東海市幼児教育研究協議会
- 2 開催日時 令和6年（2024年）2月27日（火）
15:00～16:30
- 3 開催場所 東海市役所 501会議室（5階）
- 4 議題
 - (1) 令和5年度（2023年度）事業報告について
 - (2) 令和6年度（2024年度）事業計画（案）について
 - (3) その他
- 5 出席者氏名

幼児教育研究協議委員 13名

学校教育課指導主事（会長）	佐々木淳志
明倫保育園長（副会長）	高澤 智恵
元東海市立保育園長	大野久美子
上野台幼稚園長	中村 友美
上野台幼稚園主幹教諭	前床 佳奈
養父保育園園長	平松 好美
木庭保育園 主任保育士	森 治子
富木島保育園 主任保育士	本山恵巳子
加木屋保育園 主任保育士	柳澤 純子
横須賀小学校長	加古 勲
三ツ池小学校 教務主任	牧野 彰人
明倫小学校 校務主任	小島 悠揮
主任児童委員	杉江 美咲

事務局

幼児保育課長	小島 英泰
幼児保育課 指導保育士	川口 満子
幼児保育課 幼児教育専門員	加藤 郁子
6 欠席者	なし
7 公開・非公開の別	公開
8 傍聴者の数	なし
9 発言の内容	

挨拶

幼児教育研究協議会 会長 佐々木淳志（学校教育課指導主事）

お忙しい中、ご出席ありがとうございます。皆様のご協力により、一年が過ぎようとしています。こども家庭庁が創立され、こども家庭センターが、全市町村に設置されることが義務化されます。子どもを取り巻く環境として、子どもを真ん中において、周りの大人がどうしていくとよいのかを考えていきます。そのためにも、この幼児教育研究協議会は必要で、大変貴重な会だと考えます。お力添えいただいた委員の皆様、本当にありがとうございました。本日も忌憚ないご意見をよろしくお願いします。

(1) 令和5年度（2022年度）事業報告 資料参照

① 保育参観・研究協議について 別紙参照

- ・保育参観で、小学校の先生に、今の時期の子どもの様子を見ていただき協議できたことは大変遊戯であったと意見をいただいた。今年度は5校7人の先生が参加してくださった。
- ・今年度は、愛知県幼児教育研究協議会のリーフレットおよび事例集を参考に、幼児期の「資質・能力」について整理・確認した。幼稚園・保育園から小学校につなげていく糸口になればと考えた。子どもたちが、さらに安心して学びを続けていくことができるとよい。
- ・リーフレットの活用を保育現場に広げていくことができるとよい。

② 保育園児と幼稚園児・認定こども園児との交流について

- ・計画通り実施されている。
- ・複数回行うことや後半実施することは意義があると、報告をうけた。

③ 紀要42号の発行について

- ・各園から送信された原稿を講師に送付し、総評をお願いしている。完成したら委員の皆様へ送付する。

《事業報告について意見交換》

① 小学校と保育園・幼稚園・認定こども園との交流について

(事務局より)

- ・交流の必要性が、保育参観の協議および参観後のレポートで、複数の参加者からあがっている。4月中旬に実施する「担当者会議」では毎年度校区ごとに計画を立てており、来年度もそのように行いたい。現場サイドで、綿密な打ち合わせができる時間を確保するため、開催時間を従来の「15時30分～16時30分」から「15時00分～16時30分」に変更したらどうか。

(委員より)

- ・交流の必要性を強く感じるため、提案通り時間の変更に賛成である。交流の実践を目指して計画を立てたい。前もってわかっていたら、小学校教諭も参加することは可能である。

② 保育参観について

(事務局より)

- ・今年度の日程は、保育参観（13:30～14:10）⇒オリエンテーションと研究協議（14:10～15:30）とした。

協議の時間が足りないという意見を多くいただいた。協議や振り返りの時間を確保するため15:30の終了を16:00に変更したらどうか。また、小学校の先生にたくさん参加していただき連携していくために、方法等ご意見をいただきたい。

(委員より)

- ・今年度、グループ討議が活発に行われた。時間が足りない印象である。時間を30分延ばすことに賛成である。
- ・小学校の教諭も参加すれば必ず勉強になると実感したので、なるべく参

加できるように配慮したい。

- ・オンライン協議が可能であれば、参加する教諭が増えると思う。
- (2) 令和6年度（2024年度）事業計画（案）について 別紙2参照
資料に基づき計画（案）について承認を得る。
- (3) その他

memory tree 北社山保育園（仮称）について

- ・0歳児から5歳児を受け入れる私立保育園として、令和6年4月1日に開園予定である。

《一年を終えての感想および意見》

- ・協同遊びの公開保育に初めて参加した。その中で生活スキルやコミュニケーション力の様子を見ることもでき、とても貴重だった。
- ・現場の先生の思いや考え、真剣な子どもの様子や成長を考えたり話したりすることを大切にしていきたい。また、いろいろな関係者が意見交換しお互いを知ることが大事である。今後も積極的に情報交換したい。
- ・お互いが少しずつ歩み寄っていることを実感している。幼児教育のことを知っていただきたいので、ぜひ来園してほしい。
- ・課題を言語化し共通理解していく大事な会であると実感している。事業にたくさんの方が参加し、現場で顔見知りになることが連携の一步につながると思う。
- ・東海市は連携事業に歴史があり、斬新な交流もある。市の職員にも市民にも発信し知ってもらいたい。
- ・幼児教育をいろいろな方向から支援・教育していただき、子どもの良さを再発見することができた。また幼児教育について、自分の立場で、保護者に安心して伝えることができると思う。
- ・情報交換がたくさんできたと思う。子どもが入学して、知っている友達がいると安心感がある。好きな歌や遊びを小学校の先生が知っているのと、それをつなげることもできる。お互いを知ることが大切である。
- ・小学校教諭も参観等にはなるべく参加できるように配慮したい。参加すれば必ず勉強になる。

・昔、相互体験交流に参加した経験がある。保育者は、教科書がないのに的確に指導ができてすごいなと思った。どの子も小学校に上がるときにハードルがある。それを乗り越えさせてあげるにはどうしたらよいか、子どもが動くことが大半を占めるが、このような会で考えていくことがとても重要となる。

以上

議事録確認

幼児教育研究協議会会長

佐々木淳志

記録作成者

幼児保育課

加藤 郁子